三　学則と細則等

１　学則

目　　次

第 1 章　　総　　則
第 2 章　　学年、学期及び休業日
第 3 章　　入学、再入学、編入学及び転入学
第 4 章　　教育課程及び履修
第 5 章　　欠席、休学及び復学
第 6 章　　転学科、転学、退学及び卒業
第 7 章　　入学検定料、入学金及び授業料等
第 8 章　　教職員組織
第 9 章　　教　員　会
第 10 章　　賞　　罰
第 11 章　　健 康 診 断
　　附　　則

第１章　総　則

（目　的）

第1条 本校は、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 124 条並びに救急救命士法および柔道整復師法に基づき、救急救命並びに柔道整復医療に必要な能力を育成し、保健医療の向上に寄与することを目的とする。

（名　称）

第2条 本校は、長野救命医療専門学校と称する。

（位　置）

第3条 本校は、以下の位置に置く。

長野県東御市田中 66-1

（自己点検・評価）

第4条 本校は、その教育研究の向上を図り、第１条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行う。

（課程、学科の種類、修業年限、収容定員及び在学年限）

第5条 本校の課程・学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課　程　名	学　　科	昼夜の別	修業年限	入学定員	総定員
医療職業実践専門課程	救急救命士学科	昼	３ 年	４０	１２０
	柔道整復師学科	昼	３ 年	３０	９０

２　各学年１学級とする
３　学生は、前条に定める修業年限の２倍を超えて在学することができない。
４　第 12 条第１項の規定により再入学した者は、同条第２項の規定により定められた在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第２章　学年、学期及び休業日

（学　年）

第6条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

（学　期）

第7条 学年を次の２学期に分ける。

前　期　4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後　期　10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

（休業日）

第8条 休業日は、次のとおりとする。

⑴　日曜日
⑵　土曜日
⑶　国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
⑷　春季休業　4 月 1 日から 4 月 5 日まで
⑸　夏季休業　7 月 24 日から 8 月 19 日まで
⑹　冬季休業　12 月 22 日から翌年 1 月 6 日まで
⑺　学年末休業　3 月 15 日から 3 月 31 日まで
⑻　その他校長の定めた日

２　非常災害等により授業を行うことが困難な場合、前項にかかわらず休業日とすることがある。
３　教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、第 1 項及び第 2 項にかかわらず、休業日に授業を行うことがある。

第３章　入学、再入学、編入学及び転入学

（入学等の時期）

第9条 入学（再入学、編入学及び転入学を含む。）の時期は、学年の始めとする。

（入学の資格）

第10条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

⑴　学校教育法第 56 条第 1 項に掲げる者
⑵　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑶　文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格し、かつ 18 歳に達した者
⑷　その他本校において、個別の入学資格基準により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 18 歳に達している者

（入学者の選考）

第11条 入学を志願する者に対しては、学力検査及び面接試験を行い、その成績及び出身学校長の調査書等の成績を総合して選考し、教員会の議を経て校長が合格を決定する。

２　入学試験は一般推薦入試、一般入試、社会人入試及びＡＯ入試とする。

（再入学）

第12条 第32条の規定により退学した者及び第42条第3号の規定により除籍された者で、本校の再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に再入学を許可することがある。

２　前項の規定により再入学を許可された者が既に修得した授業科目＠「及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、校長が決定する。

３　入学は、学年初めに限るものとする。

（編入学及び転入学）

第13条 次の各号の一に該当する者で、本校への編入学及び転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学及び転入学を許可することがある。

⑴　本校の他の学科を卒業した者

⑵　大学・短大に２年以上在籍し、かつ６２単位以上取得した者

⑶　他の医療技術系の大学等で１年以上在学し、必要単位を取得した者

２　前項の規定により編入学及び転入学を許可された者が他の学校等において既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、校長が決定する。

３　入学は、学年初めに限るものとする。

（入学等の出願）

第14条 本校に入学、再入学、または転入学を志願する者は、次の各号の書類に検定料を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

一　入学願書

二　写真（３カ月以内に撮影したもの）

三　出身校等学校長の調査書又は卒業証明書

２　第32条の規定のうち病気を理由に本校を退学し、再入学を志願する者は、出願前2ヶ月以内に医師が作成した診断書を添付すること。

（入学等の手続き及び許可）

第15条 第11条及び第12条および第13条の選考により合格した者は、所定の期日までに、入学金等を納付し、所定の手続きをしなければならない。

２　合格者は、第1保証人及び第2保証人連署の誓約書その他所定の手続き書類を期日までに提出しなければならない。

３　校長は、第1項及び第2項の手続きを完了したものに入学、再入学、編入学または転入学を許可する。

（保証人）

第16条 保証人は２名とし、第１保証人は保護者若しくは学費出資者とし、第２保証人は日本国内に居住し、独立の生計を営む成年者でなければならない。

第４章　教育課程及び履修

（授業日時数）

第17条 本校の授業日時数は、次のとおりとする。

	救急救命士学科			柔道整復師学科		
学　　年	1　年	2　年	3　年	1　年	2　年	3　年
年間授業日数	185 日	185 日	185 日	185 日	185 日	185 日
１週授業時数	30 時間	30 時間	30 時間	30 時間	30 時間	30 時間
１週授業日数	5　日	5　日	5　日	5　日	5　日	5　日

２　前項の授業日時数は状況により多少変更することがある。

（始業終業の時刻）

第18条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

	救急救命士学科	柔道整復師学科
始業時刻	午前８時50分	午前８時50分
終業時刻	午後４時10分	午後４時10分

２　前項の始業及び終業の時刻は状況により多少変更することがある。

（教育課程及び必要単位数）

第19条 本校における授業科目及びその単位数並びに卒業に要する単位数は、別表１及び別表２による。

（授業科目）

第20条 本校において開設される授業科目は、これを必修及び選択科目とする。

（選択科目の履修の届け出）

第21条 学生は、学則別表１及び別表２に掲げる授業科目のうち、当該年度において履修しようとする選択科目については、履修届を所定の期日までに届け出なければならない。

２　前項の届け出をしない授業科目は、履修することができない。前項の規定により申し出た授業科目は，前項の期日内に申し出た場合に限り、これを変更し又は取り消すことができる。

（他学科の授業科目の履修等）

第22条 本校の学生は、所定の手続きを経て、他の学科の授業科目を履修し、又は聴講することができる。

（入学前の既修得単位等の認定）

第23条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が本校に入学する前に大学、短期大学又は専修学校医療専門課程において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本校に入学した後の本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　前項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学又は転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて 30 単位を超えないものとする。

（単位計算方法）

第24条 各授業科目の単位計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学習を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ次の基準によるものとする。

(1)　講義・演習については、15 時間から 30 時間の講義、演習をもって 1 単位とする。

(2)　実習については 30 時間から 45 時間の実習時間をもって 1 単位とする。

（授業科目履修の認定）

第25条　授業科目を履修し、各科目ごとに定められた時間数の 3 分の 2 を超えて出席し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

２　試験の成績の評価は、Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの 5 段階としＣ以上を合格とする。なお、それぞれの評価は、原則として、100 点満点で 90 点以上をＳ、80 点以上をＡ、70 点以上をＢ、60 点以上をＣとする。60 点に満たない場合は、再試験を行い合格したものをＣ、不合格の場合はＤとする。

第５章　欠席、休学及び復学

（欠席）

第26条 学生は、病気その他事由により欠席した場合は、その理由を明記した欠席届を５日以内に提出しなければならない。

２　病気による欠席が 10 日以上に及んだ場合には、医師の診断書を添えなければならない。

（休学）

第27条 学生は、病気その他やむを得ない理由のため、3 カ月以上修学不能となった場合は医師の診断書又は明確な理由書を添えて、保証人連署のうえ、休学願を提出して校長の許可を得なければならない。

２　病気のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、校長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第28条 休学期間は、引き続き 1 年を超えることができない。ただし、特別な理由があると認められる者には 1 年を超えて許可することがある。

２　休学期間は通算して 3 年を超えることができない。

３　休学期間は、在学期間に算入しない。

（復学）

第29条 前条の規定により休学を許可された者が、休学期間満了又は休学期間内にその理由が中止した場合は、保証人連署のうえ復学願を提出し、校長の許可を得なければならない。

２　前項において、病気のため休学を許可された者は、医師の診断書を添えて願い出なければならない。

３　前２項の願を提出し、許可された者については、原学年に編入する。

第６章　転学科、転学、退学及び卒業

（転学科）

第30条 転学科は原則として認めない。

（転学）

第31条 他の学校に転学しようとするものは、理由を記載した書面を添えて、その許可を願い出なければならない。

（退学）

第32条 病気その他やむを得ない理由により退学しようとする者は、保証人連署のうえ理由を明記した退学願を提出し、校長の許可を得なければならない。

（進級、卒業）

第33条 進級及び卒業の認定は、試験の成績、臨床実習の評価、出欠席状況等について評定のうえ、教員会の議を経て、校長が行う。

（卒業証書）

第34条 校長は、所定の課程を修了した者に卒業証書を授与する。

第７章　入学検定料、入学金及び授業料等

（入学検定料、入学金及び授業料）

第35条 入学検定料、入学金及び授業料等については、次のとおりとする。

区　分	救急救命士学科	柔道整復師学科	備　考
入学検定料	21,000円	21,000円	出願時
入学金	200,000円	200,000円	初年度
学生会費	10,000円	10,000円	初年度
同窓会費	20,000円	20,000円	初年度
授業料	800,000円	900,000円	年度ごと
実験実習費	200,000円	150,000円	年度ごと
施設設備費	200,000円	200,000円	年度ごと
合計	1,451,000円	1,501,000円	初年度

２　学則に定められた納付金以外は徴収しない。

（納入金の納入および還付）

第36条 既納の入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として還付しない。ただし、校長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することがある。

２　休学を許可された者の授業料は、休学期間中は納入しなくてもよい。

３　停学に処せられた者の授業料は、停学期間中も納入しなければならない。

第８章　教職員組織

（教職員）

第37条 本校は次の教職員を置く。

(1)　校　長　　１名

(2)　学科長　　２名（救急救命士学科 １名、柔道整復師学科 １名）

(3)　専任教員　８名以上（救急救命士学科 ３名以上、柔道整復師学科 ５名以上）

(4)　非常勤教員（校長が必要と認めた数）

(5)　事務長　　１名

(6)　事務職員　１名以上

(7)　学校医　　１名

２　校長は校務を処理し、所属教職員を監督する。

３　校長は、必要があると認めたときは、副校長を置くことができる。

第９章　教員会

（教員会）

第38条 本校に教員会をおく。

第１０章　委員会

（学校関係者評価委員会）

第39条 本校に学校関係者評価委員会をおく。自己評価とともに学校関係者評価をとおして、本校の学校運営並びに教育活動の向上を図る。

（教育課程編成委員会）

第40条 本校に教育課程編成委員会をおく。病院・消防署・企業等と連携し、職業に必要な実践的・専門的な教育課程を編成して、授業や実習の方法の改善・工夫に努める。

第１１章　賞　罰

（表彰）

第41条 校長は、学業、品行共に優秀で他の模範となる学生を表彰することができる。

（除籍）

第42条 学生で次の各号の一に該当する者は、教員会の議を経て、校長はこれを除籍する。

(1) 病気その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者

(2) 第５条に規定する在学年限を超えた者

(3) 授業料等の納付を怠り、督促をしてもなお納入しない者

(4) 第28条第２項に規定する休学期間を超えてもなお復学できない者

２　前項において除籍された学生はその身分を失う。

（懲戒）

第43条 本校の学則及びその他の規則に違反し、又は学生の本分に反する行為があった者は、教員会の議を経て、校長はこれを懲戒する。

２　懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

３　次の各号の一に該当する者には、退学を命ずることがある。

⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められた者

⑵　学力劣等で成業の見込みがないと認められた者

⑶　正当の理由がなくて欠席が長期にわたる者

⑷　本校の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第１２章　健康診断

（健康診断の実施）

第44条　本校においては、学生の健康を保持するために健康診断を年一回以上行うものとする。

附　則

１　この学則は、平成18年4月1日から施行する。

２　この学則の施行について必要な事項は、校長が別に定める。

３　この学則は、平成20年4月1日から施行する。

４　この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、従前の規定により入学した者は、平成28年3月31日まではこの改正にかかわらず、救急救命士学科2年次救急症候・病態生理学②を2単位とすることを除いて、なお従前の規定による。

５　この学則は、平成26年6月1日から施行する。

６　この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成26年度までに入学した者については、従前の規定による。

７　この学則は、平成28年4月1日から施行する。

８　この学則は、平成29年4月1日から施行する。

９　この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、柔道整復師学科では平成29年度までに入学した者については従前の規定による。

10　この学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、従前の規定により入学した者については従前の規定による。

四　教育課程一覧

（別表1）

平成29･30年度入学生用

医療職業実践専門課程												
救急救命士学科												
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数								
				１年次		２年次		３年次		合計		
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と人間生活	科学1	講義	60	4					60	4	
		科学2	講義	60	4					60	4	
		科学3	講義	60	4					60	4	
		英語	講義	60	4					60	4	
		人文科学	講義	60	4					60	4	
		社会科学	講義	60	4					60	4	
		体育	実習	60	2					60	2	
		礼式訓練・体力錬成	実習	60	2	60	2	30	1	150	5	
	小　計			480	28	60	2	30	1	570	31	
専門分野基礎	人体の構造と機能	人体の構造と機能	講義	90	6					90	6	
	疾病の成り立ちと回復の過程	法医学・病理学	講義			60	4			60	4	
	健康と社会保障	健康と社会保障	講義					60	4	60	4	
	小　計			90	6	60	4	60	4	210	14	
専門分野	救急医学概論	救急医療概論	講義	60	2					60	2	
		観察・評価	講義	60	2					60	2	
		救急処置①	講義	90	3					90	3	
		救急処置②	講義	60	2					60	2	
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学①	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学②	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学③	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学④	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学⑤	講義			30	2			30	2	
	疾病救急医学	呼吸器疾患	講義			30	2			30	2	
		循環器疾患	講義			15	1			15	1	
		消化器疾患	講義			15	1			15	1	
		神経疾患	講義			15	1			15	1	
		小児・妊産婦疾患	講義			30	2			30	2	
		その他の疾患（１）	講義			30	2			30	2	
		その他の疾患（２）	講義			30	2			30	2	
	外傷救急医学	外傷総論	講義			60	2			60	2	
		外傷各論，熱傷・異物等	講義			60	2			60	2	
	環境障害・急性中毒学	環境障害、急性中毒学	講義					30	1	30	1	
	臨地実習	早期体験実習	実習	45	1					45	1	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（基本）1	実習	180	4					180	4	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（基本）2	実習			225	5			225	5	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（応用）1	実習			180	4			180	4	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（応用）2	実習					410	9	410	9	
		救急車同乗実習	実習					45	1	45	1	
		臨床実習	実習					180	4	180	4	
	小　計			615	22	720	26	665	15	2000	63	
合　計				1185	56	840	32	755	20	2780	108	

	科目名	講義・実習の別	授業時間数			
			１年次	２年次	３年次	合計
			時間	時間	時間	時間
選択科目	山岳救命コース（講義）	講義		30		30
	山岳救命コース（登山実習）	実習		30		30
	国家試験対策講座	講義			325	325
	公務員試験対策講座	講義		180	120	300
	小　計		0	240	445	685

（別表1）

平成31年度入学生用

医療職業実践専門課程												
救急救命士学科												
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数								
				１年次		２年次		３年次		合計		
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と人間生活	科学1	講義	60	4					60	4	
		科学2	講義	60	4					60	4	
		科学3	講義	60	4					60	4	
		英語	講義	60	4					60	4	
		人文科学	講義	60	4					60	4	
		社会科学	講義	60	4					60	4	
		体育	実習	60	2					60	2	
		礼式訓練・体力錬成	実習	60	2	60	2	30	1	150	5	
	小　計			480	28	60	2	30	1	570	31	
専門分野基礎	人体の構造と機能	人体の構造と機能	講義	90	6					90	6	
	疾病の成り立ちと回復の過程	病理学・法医学・薬理学	講義			60	4			60	4	
	健康と社会保障	健康と社会保障	講義					60	4	60	4	
	小　計			90	6	60	4	60	4	210	14	
専門分野	救急医学概論	救急医学概論	講義	60	2					60	2	
		観察・評価	講義	60	2					60	2	
		救急処置1	講義	90	3					90	3	
		救急処置2	講義	90	3					90	3	
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学1	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学2	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学3	講義	30	2					30	2	
		救急症候・病態生理学4	講義	30	2					30	2	
	疾病救急医学	呼吸器疾患	講義			30	2			30	2	
		循環器疾患	講義			15	1			15	1	
		消化器疾患	講義			15	1			15	1	
		神経疾患	講義			15	1			15	1	
		小児・妊産婦疾患	講義			30	2			30	2	
		その他の疾患1	講義			30	2			30	2	
		その他の疾患2	講義			30	2			30	2	
	外傷救急医学	外傷総論	講義			60	2			60	2	
		外傷各論	講義			60	2			60	2	
	環境障害・急性中毒学	環境障害、急性中毒学	講義					30	1	30	1	
	臨地実習	早期体験実習	実習	45	1					45	1	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基本1	実習	180	4					180	4	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基本2	実習			225	5			225	5	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用1	実習			180	4			180	4	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用2	実習					225	5	225	5	
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用3	実習					180	4	180	4	
		救急車同乗実習	実習					45	1	45	1	
		臨床実習	実習					180	4	180	4	
	小　計			645	23	690	24	660	15	1995	62	
合　計				1215	57	810	30	750	20	2775	107	

	科目名	講義・実習の別	授業時間数			
			１年次	２年次	３年次	合計
			時間	時間	時間	時間
選択科目	山岳救命コース（講義）	講義		30		30
	山岳救命コース（登山実習）	実習		30		30
	国家試験対策講座	講義			325	325
	公務員試験対策講座	講義		180	120	300
	小　計		0	240	445	685

（別表2）

平成30･31年度入学生用

医療職業実践専門課程											
柔道整復師学科											
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数							
				１年次		２年次		３年次		合計	
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と人間生活	科学(基礎)	講義	60	4					60	4
		科学(応用)	講義	60	4					60	4
		英語	講義	60	4					60	4
		体育	実習	60	2					60	2
	小　計			240	14	0	0	0	0	240	14
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		解剖学Ⅱ	講義			90	3			90	3
		生理学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		生理学Ⅱ	講義			60	2			60	2
		高齢者、競技者生理学的特徴	講義			60	2			60	2
		運動学	講義	60	2					60	2
	疾病と傷害	病理学概論	講義			60	2			60	2
		一般臨床医学	講義			60	2			60	2
		外科学概論	講義					60	2	60	2
		整形外科	講義					60	2	60	2
		リハビリ	講義			60	2			60	2
		衛生・公衆衛生学	講義	60	2					60	2
	柔道整復術の適応	柔道整復術の適応	講義			60	2			60	2
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	柔道Ⅰ	講義	60	2					60	2
		柔道Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道Ⅲ	講義					30	1	30	1
		関係法規	講義					60	2	60	2
		職業倫理	講義	30	1					30	1
	社会保障制度	社会保障制度	講義					30	1	30	1
	小　計			390	13	510	17	240	8	1140	38
専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学Ⅰ	講義	120	4					120	4
		基礎柔道整復学Ⅱ	講義					150	5	150	5
		外傷保存療法経過、治癒	講義			30	1			30	1
	臨床柔道整復学	柔道整復学各論Ⅰ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅲ	講義			60	2			60	2
		物理療法機器等の取り扱い	講義	30	1					30	1
		臨床的判定（画像診断）	講義			60	2			60	2
		臨床柔道整復学	講義					240	8	240	8
	柔道整復実技	包帯実技	実技	30	1	30	1			60	2
		柔道整復実技Ⅰ	実技	120	4					120	4
		柔道整復実技Ⅱ	実技			150	5			150	5
		柔道整復実技Ⅲ	実技					120	4	120	4
		高齢者、競技者の外傷予防臨床実習前試験	講義					60	2	60	2
	臨床実習	臨床実習	実習	90	2	90	2			180	4
	小　計			390	12	540	17	570	19	1500	48
合　計				1020	39	1050	34	810	27	2880	100

	科目名	講義・実習の別	授業時間数			
			１年次	２年次	３年次	合計
			時間	時間	時間	時間
選択科目	山岳救命コース（講義）	講義		30		30
	山岳救命コース（登山実習）	実習		30		30
	国家試験対策講座	講義	30	60	360	450
	小　計		30	120	360	510

（別表2）

平成29年度入学生用

医療職業実践専門課程											
柔道整復師学科											
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数							
				１年次		２年次		３年次		合計	
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と人間生活	科学(基礎)	講義	60	4					60	4
		科学(応用)	講義	60	4					60	4
		英語	講義	60	4					60	4
		体育	実習	60	2					60	2
	小　計			240	14	0	0	0	0	240	14
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		解剖学Ⅱ	講義			90	3			90	3
		生理学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		生理学Ⅱ	講義			60	2			60	2
		運動学	講義			60	2			60	2
	疾病と傷害	病理学概論	講義			60	2			60	2
		一般臨床医学	講義			60	2			60	2
		外科学概論	講義					60	2	60	2
		整形外科	講義					60	2	60	2
		リハビリ	講義			60	2			60	2
		衛生・公衆衛生学	講義	60	2					60	2
	保健医療福祉と 柔道整復の理念	柔道Ⅰ	講義	60	2					60	2
		柔道Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道Ⅲ	講義					30	1	30	1
		関係法規	講義					60	2	60	2
	小　計			300	10	450	15	210	7	960	32
専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学Ⅰ	講義	120	4					120	4
		基礎柔道整復学Ⅱ	講義					150	5	150	5
	臨床柔道整復学	柔道整復学各論Ⅰ	講義			120	4			120	4
		柔道整復学各論Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅲ	講義			60	2			60	2
		臨床柔道整復学	講義					330	11	330	11
	柔道整復実技	包帯実技	実技	30	1	30	1			60	2
		柔道整復実技Ⅰ	実技	120	4					120	4
		柔道整復実技Ⅱ	実技			150	5			150	5
		柔道整復実技Ⅲ	実技					120	4	120	4
		臨床実習	実習			45	1			45	1
	小　計			270	9	465	15	600	20	1335	44
合　計				810	33	915	30	810	27	2535	90

	科目名	講義・実習の別	授業時間数			
			１年次	２年次	３年次	合計
			時間	時間	時間	時間
選択科目	山岳救命コース（講義）	講義		30		30
	山岳救命コース（登山実習）	実習		30		30
	国家試験対策講座	講義	30	60	360	450
	公務員試験対策講座	講義		180		180
	小　計		30	300	360	690

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧

平成31年度入学生用

医療職業実践専門課程												
救急救命士学科												
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数								
				１年次		２年次		３年次		合計		
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と人間生活	礼式訓練・体力錬成	実習	60	2	60	2	30	1	150	5
	小　計			60	2	60	2	30	1	150	5
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能	講義	90	6					90	6
	健康と社会保障	健康と社会保障	講義					60	4	60	4
	小　計			90	6	0	0	60	4	150	10
専門分野	救急医学概論	救急処置1	講義	90	3					90	3
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学1	講義	30	2					30	2
		救急症候・病態生理学2	講義	30	2					30	2
	疾病救急医学	呼吸器疾患	講義			30	2			30	2
		循環器疾患	講義			15	1			15	1
		消化器疾患	講義			15	1			15	1
		神経疾患	講義			15	1			15	1
		小児・妊産婦疾患	講義			30	2			30	2
		その他の疾患1	講義			30	2			30	2
		その他の疾患2	講義			30	2			30	2
	外傷救急医学	外傷総論	講義			60	2			60	2
		外傷各論	講義			60	2			60	2
	環境障害・急性中毒学	環境障害、急性中毒学	講義					30	1	30	1
	臨地実習	早期体験実習	実習	45	1					45	1
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基本1	実習	180	4					180	4
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ基本2	実習			225	5			225	5
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用1	実習			180	4			180	4
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用2	実習					225	5	225	5
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ応用3	実習					180	4	180	4
		救急車同乗実習	実習					45	1	45	1
		臨床実習	実習					180	4	180	4
	小　計			375	12	690	24	660	15	1725	51
合　計				525	20	750	26	750	20	2025	66

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧

平成29･30年度入学生用

医療職業実践専門課程												
救急救命士学科												
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数								
				１年次		２年次		３年次		合計		
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と人間生活	礼式訓練・体力錬成	実習	60	2	60	2	30	1	150	5
	小　計			60	2	60	2	30	1	150	5
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能	講義	90	6					90	6
	健康と社会保障	健康と社会保障	講義					60	4	60	4
	小　計			90	6	0	0	60	4	150	10
専門分野	救急医学概論	救急処置1	講義	90	3					90	3
	救急症候・病態生理学	救急症候・病態生理学1	講義	30	2					30	2
		救急症候・病態生理学2	講義	30	2					30	2
	疾病救急医学	呼吸器疾患	講義			30	2			30	2
		循環器疾患	講義			15	1			15	1
		消化器疾患	講義			15	1			15	1
		神経疾患	講義			15	1			15	1
		小児・妊産婦疾患	講義			30	2			30	2
		その他の疾患（１）	講義			30	2			30	2
		その他の疾患（２）	講義			30	2			30	2
	外傷救急医学	外傷総論	講義			60	2			60	2
		外傷各論，熱傷・異物等	講義			60	2			60	2
	環境障害・急性中毒学	環境障害、急性中毒学	講義					30	1	30	1
	臨地実習	早期体験実習	実習	45	1					45	1
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（基本）1	実習	180	4					180	4
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（基本）2	実習			225	5			225	5
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（応用）1	実習			180	4			180	4
		ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ（応用）2	実習					410	9	410	9
		救急車同乗実習	実習					45	1	45	1
		臨床実習	実習					180	4	180	4
	小　計			375	12	690	24	665	15	1730	51
合　計				525	20	750	26	755	20	2030	66

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧

平成30･31年度入学生用

医療職業実践専門課程											
柔道整復師学科											
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数							
				１年次		２年次		３年次		合計	
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		解剖学Ⅱ	講義			90	3			90	3
		生理学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		生理学Ⅱ	講義			60	2			60	2
		高齢者、競技者生理学的特徴	講義			60	2			60	2
	疾病と傷害	病理学概論	講義			60	2			60	2
		一般臨床医学	講義			60	2			60	2
		外科学概論	講義					60	2	60	2
		整形外科	講義					60	2	60	2
		リハビリ	講義			60	2			60	2
		衛生・公衆衛生学	講義	60	2					60	2
	柔道整復術の適応	柔道整復術の適応	講義			60	2			60	2
	保健医療福祉と柔道整復の理念	柔道Ⅰ	講義	60	2					60	2
		柔道Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道Ⅲ	講義					30	1	30	1
		関係法規	講義					60	2	60	2
		職業倫理	講義	30	1					30	1
	社会保障制度	社会保障制度	講義					30	1	30	1
	小　計			330	11	510	17	240	8	1080	36
専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学Ⅰ	講義	120	4					120	4
		基礎柔道整復学Ⅱ	講義					150	5	150	5
		外傷保存療法経過、治癒	講義			30	1			30	1
	臨床柔道整復学	柔道整復学各論Ⅰ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅲ	講義			60	2			60	2
		物理療法機器等の取り扱い	講義	30	1					30	1
		臨床柔道整復学	講義					240	8	240	8
	柔道整復実技	包帯実技	実技	30	1	30	1			60	2
		柔道整復実技Ⅰ	実技	120	4					120	4
		柔道整復実技Ⅱ	実技			150	5			150	5
		柔道整復実技Ⅲ	実技					120	4	120	4
		高齢者、競技者の外傷予防臨床実習前試験	講義					60	2	60	2
	臨床実習	臨床実習	実習	90	2	90	2			180	4
	小　計			390	12	480	15	570	19	1440	46
合　計				720	23	990	32	810	27	2520	82

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧

平成29年度入学生用

医療職業実践専門課程											
柔道整復師学科											
一般専門の別	教育内容	科目名	講義・実習の別	授業時間数及び単位数							
				１年次		２年次		３年次		合計	
				時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		解剖学Ⅱ	講義			90	3			90	3
		生理学Ⅰ	講義	90	3					90	3
		生理学Ⅱ	講義			60	2			60	2
	疾病と傷害	病理学概論	講義			60	2			60	2
		一般臨床医学	講義			60	2			60	2
		外科学概論	講義					60	2	60	2
		整形外科	講義					60	2	60	2
		リハビリ	講義			60	2			60	2
		衛生・公衆衛生学	講義	60	2					60	2
	保健医療福祉と柔道整復の理念	柔道Ⅰ	講義	60	2					60	2
		柔道Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道Ⅲ	講義					30	1	30	1
		関係法規	講義					60	2	60	2
	小　計			300	10	390	13	210	7	900	30
専門分野	基礎柔道整復学	基礎柔道整復学Ⅰ	講義	120	4					120	4
		基礎柔道整復学Ⅱ	講義					150	5	150	5
	臨床柔道整復学	柔道整復学各論Ⅰ	講義			120	4			120	4
		柔道整復学各論Ⅱ	講義			60	2			60	2
		柔道整復学各論Ⅲ	講義			60	2			60	2
		臨床柔道整復学	講義					330	11	330	11
	柔道整復実技	包帯実技	実技	30	1	30	1			60	2
		柔道整復実技Ⅰ	実技	120	4					120	4
		柔道整復実技Ⅱ	実技			150	5			150	5
		柔道整復実技Ⅲ	実技					120	4	120	4
		臨床実習	実習			45	1			45	1
	小　計			270	9	465	15	600	20	1335	44
合　計				570	19	855	28	810	27	2235	74